

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

「かがやくいのち」

射水市立放生津小学校 4 学年
平成26年6月2日実施

【いのちの先生】

松下 真由美先生

・元小学校教員、学習サポーター

(松下先生へ)

私は今日の学習でいろいろなことがわかりました。
家の人だけにやさしくするのではなく、友達にも優しくしなきゃいけないということがよくわかりました。あと、本で君は本当にすてきなんだということもわかりました。
今後も命を大切にしていきたいと思いました。



(松下先生へ)

② いのちの授業を受けて、命は大切だということも分かったけど、家族も友達も大切だということがわかりました。本を読んでもらって最後の場面でトリケラトプスは、こわいけど本当にやさしいということがわかりました。私も友達をやさしくしてあげたいし、命を大切にしたいと思いました。

(お母さんへ)

① 私は学習で、命は一つしかなく二つはないということがわかりました。だから命を大切にしたいと思いました。そのためには、廊下を走らないとかルールを守ってがんばりたいと思いました。それとみんなのこともやさしく大切にしたいと思いました。

(お母さんへ)

② 学習から、家族は大事だと分かったけど、友達も大事だということがわかりました。松下先生の話を聞いて、命は大切ということがわかりました。今後も手伝いをがんばりたいと思いました。

